

令和4年度1～3月期の大型コンクリート製品の出荷状況は、前年同月比で89%となっている。

出荷の内訳は、コンクリート舗装版が50.5%で、新潟県佐渡市両津港(湊地区)岸壁工事に出荷された。次にダム監査廊が49.5%で、内ヶ谷ダム(岐阜県)に出荷された。他スノーシット、スノーシェルター類、長尺側溝類、大型BOXカルバートの出荷は無い。

また、大型製品の対象とはならないが、河川護岸の整備・強化等への出荷はある。

大型コンクリート製品出荷量の推移

(単位：%、千t)

県名	令和3 年度計	令和4年度					備考
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	累計	
新潟県	+69	+∞	▲71	▲80	▲54	▲66	
	5.30	0.59	0.66	0.44	0.11	1.80	
富山県	▲30	+∞	+107	▲39	+∞	+152	
	0.62	0.65	0.60	0.20	0.11	1.56	
石川県	+∞	▲∞	▲∞	▲∞	▲∞	▲∞	
	0.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
3県計	+63	+∞	▲57	▲78	▲11	▲17	
	6.58	1.24	1.26	0.64	0.21	3.36	

(注) 大型コンクリート製品とは、大型ボックスカルバート(幅4m高3m以上で分割製作されたもの)、長さ5m以上の長尺側溝類、監査廊、コンクリート舗装版(融雪舗装版を含む)、スノーシット、スノーシェルターをいう。

『一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会』 <http://www.hokudocon.jp>